

一般質問

■七尾港の問題

七尾市の繁栄は七尾港がもたらす！

杉本議員 金沢港建設の際、県政の重要な課題として県内の物流港である七尾港と金沢港の両立させていくことだったが、七尾港は開港100年以上の重要港湾としてどうなのか。今後活力を取り戻す努力として次の施策に何を実施するのか。七尾港の繁栄は、単に当市だけでなく、能登全域に与える重要な課題でもあり、金沢港と両立された港の姿となっているのか。

不嶋市長 金沢港は、国際海上コンテナと外航クルーズの2つの機能が認められ、日本海側拠点港に選定された。一方、七尾港は選定に漏れ、次点として原木の拠点化形成促進港に選定された。このことを踏まえ、官民挙げて原木のトリアル輸送や木材等のポートセールスに積極的に取り組んできているが、残念ながら事業化の見通しが立っていない状況である。今後も市の役割としては、港湾機能をしっかりと充実していくことが大事だと思っており、現在進めている大田地区の国際物流ターミナル水深13メートルの整備あるいは矢田新地区の緑地の整備については、国や県に対して、しっかりと要望を続けて港湾機能の拡充に努めていく。そのためにも、利活用を基本的には、民主導でお願いしたいと思っており、行政も民間の皆さんと連携して、取り組んでいきたい。



杉本 忠一 議員
(無会派)



七尾港

- 【その他の質問項目】
- 財政状況
- 受動喫煙
- 庁舎の防災訓練
- 施設と土地

一般質問

■能登立国1300年記念事業について

能登立国1300年を盛り上げよ！



桂 撤男 議員
(灘会)



建設中ののり山里海ミュージアム

桂議員 能登立国1300年記念事業として、①県が作成するガイドブックはどのような内容なのか。②七尾市の記念事業はどのようなものがあるのか。③七尾城跡の航空レーザー測量調査の結果と今後の利活用をどう考えているのか。④能登立国1300年記念実行委員会の設置は考えているのか。

前田産業部長 ①県と能登4市5町の観光商工団体が連携して、能登立国1300年記念として能登の魅力満載したガイドブックの作成を進めている。世界農業遺産の能登の里山里海の豊かな自然、温泉や伝統工芸、祭り、観光スポットなど、能登の魅力を紹介するものとなっており、GW前に全国発売の予定である。

浦辺教育部長 ②まず、のり山里海ミュージアムのオープンが記念事業となり、パンフレットにも盛り込んでいく。能登立国1300年の目玉は、660年に蝦夷討伐で戦死した能登臣馬身龍であり、その部分も開館に併せて盛り込んでいきたい。③七尾城跡の測量の結果は、昨年の市民フォーラムで披露し、その測量の成果をミュージアムの開館に併せて2メートル四方の立体模型を作製し、七尾城の全体像を紹介していく。④能登の市町関係者が連携し、様々な記念事業を展開する予定で、七尾市として実行委員会は設置しない。

- 【その他の質問項目】
- 今冬の雪災害
- 公民館閉止後のコミュニティセンターの組織
- 七尾市国際交流協会

一般質問

■第2次総合計画の策定について

若者を的にした施策を！

山崎議員 現在、第2次総合計画の策定に向けて、昨年から本格的な動きが行われているが、現時点での進捗状況はどうなっているのか。また、七尾市出身者が大学に進学して卒業された方々のUターンが思うように進んでいないことが人口流出の大きな要因の一つであると考え、行政として今後の総合計画策定に向けて、この課題についてどのように捉えているのか。

不嶋市長 これまでに総合計画審議会において3回審議いただいている。審議会には、住民生活、産業建設、教育文化の部会を設けて、計画内容について意見をいただいた。その意見を踏まえて、計画案の修正に取り掛かり、今後審議会での修正案を改めて審議いただき、平成30年夏ごろにはパブリックコメントを実施し、11月には市長へ答申をいただき、それをもとに基本構想案を議会に諮って議決をいただく段階である。また、人口減少の中で若者の流出を抑制し、Uターンを図る対策も大変重要である。平成27年に第1次総合計画を策定し、企業誘致などによる働く場の確保、教育環境の充実、移住・定住策の充実などを掲げ、これに基づいて取り組んでおり、第2次総合計画においても引き続き取り組み、こうした戦略の中身、施策をしっかりと位置付けた計画にしていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 個人番号カード
- 公会計制度
- 大雪対応、水道管破損対応



山崎 智之 議員
(灘会)



第1次総合計画の冊子